

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 2 7 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 1 2 番 福井 節子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。
・ 質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
・ 質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1) 発 言 事 項	米価下落、米づくりが非常事態。生産者を励ます市農政を
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
全国に誇れる近江米、高島の米生産の持続が窮地に追い込まれています。 早場米の出荷でJAから示された概算金は、昨年比で45%下落するという深刻な事態です。この危機打開に、あらゆる方策が国・県・市の農業政策に求められます。 2023年から始まった米不足と価格高騰で、政府は2025年に59万トンの政府備蓄米を放出、輸入米が20万トンにまで急増。25年産米の備蓄中止に加え、飼料米・加工米のうち30万トンも主食用への転換、生産増などから25年産米の市場は在庫243万トンに供給過剰の状態で、高騰した価格も現在、大暴落の事態です。思い切った政府主導の政策が必要ですが、今のところ見えません。 市場任せの米政策「需要に応じた米生産」の失敗による米不足と、価格高騰・暴落という現状から、26年産米の収穫を前に米農家は困惑し、経営不安が大きく募っています。 また、25年産米在庫が過大となり、卸など米穀事業者も困難な経営を強いられています。政府備蓄米は20・21年産米の29万トンでわずか2週間分です。熊	

本地震、千葉豪雨など災害が連続し、備蓄米の増量が必須ですが政府の動きは鈍い状況です。日本の主食である米生産を持続可能なものにするため、26年産米の価格を安定させることが必要です。市長には、県市長会全国市長会の一員として、緊急の行動をお願いしたいところですが、同時に市独自の支援策も必要と考え、以下、伺います。

- 1、 市として国に対し、備蓄米31万トンの買い戻し、29万トンの買入れを早急
に実施要請を行い、食糧安全保障の観点からも備蓄水準を元に戻し、受
給環境を改善し、米価下落に歯止めを掛ける必要があります。市として可
能な行動を提起したいがどうか。
- 2、 市内280の担い手の経営危機が現実の事態です。1300農家の意欲低下
も深刻です。市農業政策として何ができるか、市農業政策、農業センター、
再生協、農業団体、担い手組織、集荷卸事業者などと連携し、実態と要望
を聞き取り、可能な支援策を考えられたい。
過去にあった肥料・燃油高騰補助の復活や地域計画での圃場集積補助
金の継続の要望が強いがどうか。